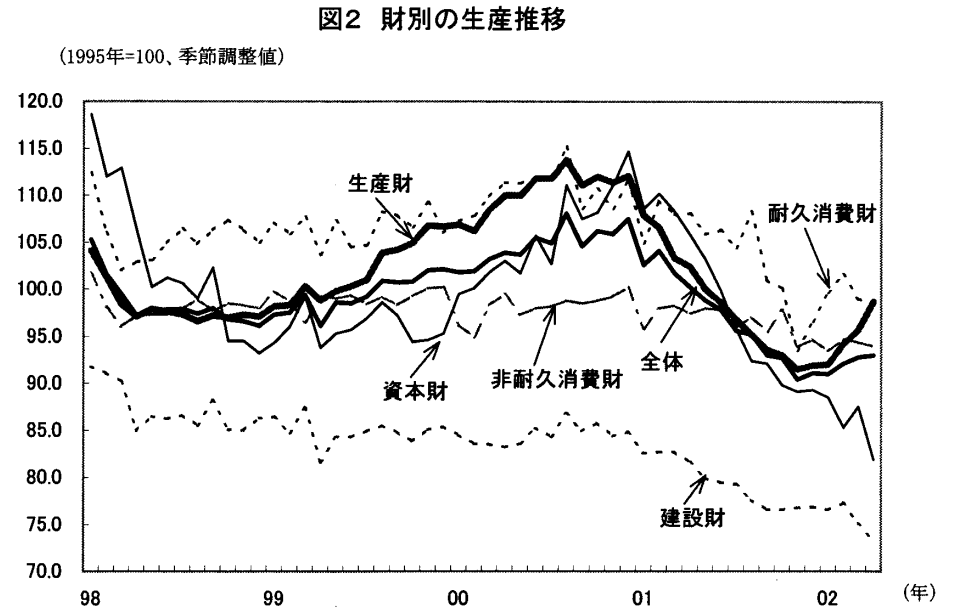
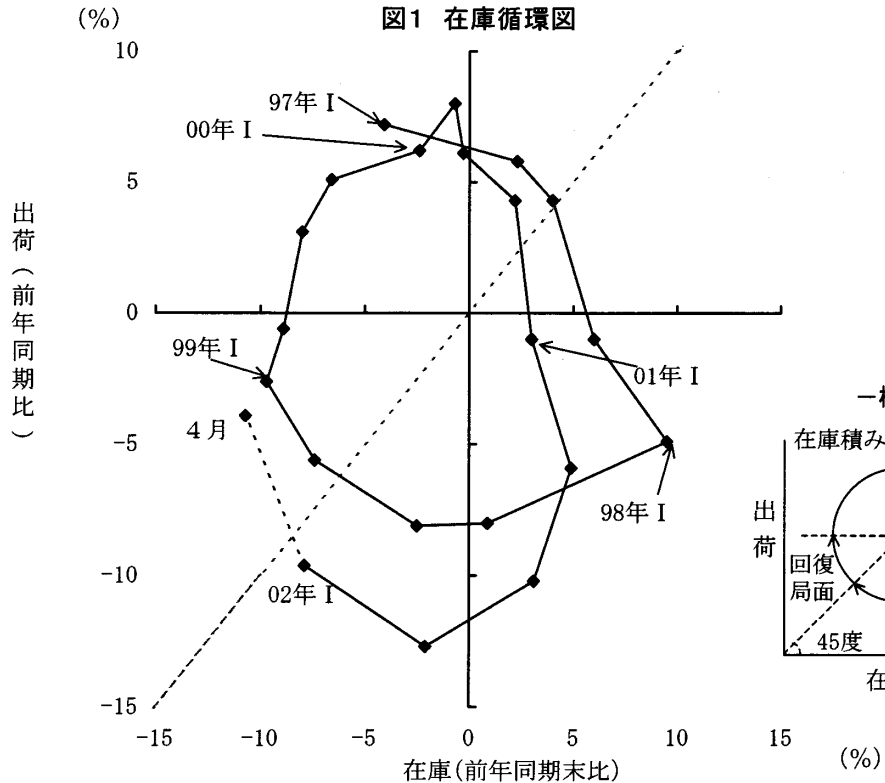


1. 鉱工業生産指数の4月の速報値をもとに、在庫循環図を描くと、45度線を超え、在庫循環図から見る限り、在庫調整局面を終了したことが分かる(図1)。
2. しかしながら、生産を財別にみると、生産財には持ち直しの動きがみられるものの、資本財、建設財等は減少しており、財によって状況が異なっている(図2)。
3. 以上のことから、現在の生産は生産財に牽引されているが、今後は、資本財等の生産が着実に増加することが生産全体の回復には重要であるといえる。



(備考) 1. 経済産業省「鉱工業生産指数」より作成。
2. 生産財は例えば電子部品、化学品といった原材料等として投入される製品をいう。